

# 伊東維年先生の退職記念号の刊行にあたって

経済学部長 金 栄 緑

経済学部教授伊東維年先生は、平成 28 年 3 月をもって定年退職されました。熊本学園大学経済学会は、先生の長年にわたる熊本学園大学および経済学部に対するご貢献に感謝の意を表して『経済論集』の特別号を発刊することになりました。伊東先生退職記念号におきまして、多くの先生方々から玉稿を賜り、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

伊東先生は、昭和 44 年佐賀大学文理学部を卒業後、九州大学経済学研究科博士課程に進学され、九州大学経済学部助手、九州産業労働研究所助手を経て、1979 年熊本商科大学経済学部専任講師として着任されました。以来、教育と研究に情熱を注がれ大学ならびに経済学部の発展に寄与されてきました。

研究の面では、地方の工業開発政策の研究に一貫して専心され、地方における製造業の現状と振興策や地域産業の振興ネットワークを中心に研究され、とくに九州の半導体産業・関連産業を対象にした研究には優れた研究業績があり、単・共著を合わせ 10 数冊の著書が発刊されています。そのなかの単著『シリコンアイランド九州の半導体産業』（2015、日本評論社）は、経済学科の専門科目「経済地理学」のテキストに使用されています。

先生の研究活動関連では、本学産業経営研究所の所長、経済地理学会、日本都市学会の幹事や理事、熊本県や地方自治体の各種委員会の委員などを歴任され、2012 年には、第 10 回法政大学「地域政策研究賞」優秀賞を受賞されました。その他、日本都市学会の「奥井記念賞」、中小企業研究奨励賞の受賞など、先生の研究業績は学会において高く評価されています。

なかでも平成 10 年から 13 年までの 2 期 4 年間にわたる本学付属産業経営研究所長在任中の研究所設立 40 周年記念研究プロジェクトは、4 年間 13 回を超える研究会が開催され、大学で研究と地域経済との連携の良いモデルが確立した素晴らしいものであったと思います。そこでまとめられた『テクノポリス政策の研究』（研究叢書 28、2010）は、上述した日本都市経済学賞を受賞されています。

伊東先生の大学や学部における様々な貢献のなかであまり知られていないことがあります。それは、本論集『経済論集』に関する仕事です。『経済論集』は、1994 年 12 月に創刊されました。当時、伊東先生は、「熊本学園大学経済学会」の設立と論集の発刊の準備段階から総務の役を務められ、その後 16 年間総務の仕事を担当されてきました。学会長や編集委員長、編集

委員の交代はありましたが、「総務」は交代されることなく伊東先生が務められました。

私事になりますが、伊東先生に対する初めての記憶は、この『経済論集』です。2002年、『経済論集』第8巻は「日本のIC産業」を特集して発刊されました。その号に、私は、日本のIC半導体産業の貿易に関する論文を投稿しました。私の文章の「てにをは」を丁寧に添削して頂き何とか掲載されたことを覚えています。

2011年、『経済論集』の「総務」の仕事を私が引き受けることとなり、16年間の資料を引き継ぎましたが、その資料を拝見し、伊東先生の仕事に対する丁寧さ正確さ、なにより情熱を感じました。

さらに、私が大学の仕事や研究などで悩んだり、つまずいたり、学部長という重責を伴う仕事に就いたとき、伊東先生は常に「ご自愛ください」と励ましてくださいました。平成28年3月定年退職の際には、名誉教授に就任され、また特任教授もお引き受けいただき、現在も教育と研究に取り組んでいらっしゃる伊東先生に、今度は私から「ご自愛ください」と申し上げたいと思います。

最後に、今回このような伊東先生退職記念号にまえがきを書くことになった深いご縁に心より感謝いたします。